eMAP アドバンスコース

［イー・マップ］

eMAPnext

eMAP next は、ひとりでも受講いただける、臨床研究の基礎知識を系統的に学ぶオンラインプログラム eMAP のアドバンスコースです。
ビデオ講義なので、いつでもどこでも、ご自身のペースで受講いただけます。また受講期間中なら何度でも視聴できますので、繰り返し復習できます。
どなたでも受講いただけます。

■eMAP next コース内容

▸コア C			
応用的な研究デザイン	1	ケース・クロスオーバー研究	山本洋介
	2	ケース・コホート研究	山本洋介
診断・予測性能に関する研究デザイン	3	臨床予測モデル（1）	山本舜悟
	4	臨床予測モデル（2）	山本舜悟
	5	臨床予測モデル（3）	山本舜悟
文献検索・系統的レビュー・メタアナリシス	6	文献検索の意義（仮）・文献検索実践編	山崎大
	7	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（1）	小川雄右
	8	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（2）	小川雄右
	9	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（3）	小川雄右
	10	メタ疫学研究（1）概要	辻本康
	11	メタ疫学研究（2）実例	辻本康
	12	メタ疫学研究（3）実際の進め方	辻本康
▸コア D			
研究倫理	1	倫理指針の概要	山本洋介
	2	医学研究における利益相反（COI）	イチロー・カワチ
応用的な統計手法	3	因果推論の基礎、傾向スコア	田栗正隆
	4	傾向スコアを用いた交絡調整の方法	田栗正隆
	5	操作変数法	田栗正隆
	6	回帰不連続デザイン	田栗正隆
	7	差の差分析	田栗正隆
	8	混合モデルと一般化推定方程式（1）	田栗正隆
	9	混合モデルと一般化推定方程式（2）	田栗正隆
論文作成	10	How to Write a Good Paper and Get Published	Feldman
	11	Scientific Writing for Publication	Kravitz
	12	論文執筆に活かす　研究デザイン	栗田宜明
	13	査読での対応方法	山本洋介

■eMAP next 開講スケジュール

コア CD コース（25 コマ）：お申し込み手続き完了から 1 年間

コア C コース（12 コマ）：お申し込み手続き完了から 6 カ月間

コア D コース（13 コマ）：お申し込み手続き完了から 6 カ月間

▸ 随時お申し込み受付中

＊いずれも、コア CD コース（25 コマ／1 年間）、コア C コース（12 コマ／6 カ月間）、コア D コース（13 コマ／6 カ月間）からお選びいただけます。

■eMAP next 受講方法

・動画講義の視聴（受講期間内は何度でも視聴可能）

・各講義の小テストに合格

・講義テキストは電子版で配布

＊すべての動画を視聴し、各講義に対する理解度確認テストにすべて合格すれば修了証を発行いたします。

■eMAP next 受講期間・受講料

お申し込み	受講期間	受講費（税込）
コア C または D［単独］	お申し込み手続き完了から 1 年間	36,000 円
コア C＋D［一括］	お申し込み手続き完了から 6 カ月間	70,000 円

■eMAP next 個別テーマ コース内容

コース	講義	講師	受講期間	受講費（税込）
臨床予測モデル コース（3 コマ）	臨床予測モデル（1）	山本舜悟	お申し込み手続き完了から 2 カ月間	9,000 円
	臨床予測モデル（2）	山本舜悟		
	臨床予測モデル（3）	山本舜悟		
系統的レビュー・メタアナリシス コース（3 コマ）	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（1）	小川雄右	お申し込み手続き完了から 2 カ月間	9,000 円
	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（2）	小川雄右		
	系統的レビュー・メタアナリシス実践編（3）	小川雄右		
メタ疫学研究 コース（3 コマ）	メタ疫学研究（1）概要	辻本康	お申し込み手続き完了から 2 カ月間	9,000 円
	メタ疫学研究（2）実例	辻本康		
	メタ疫学研究（3）実際の進め方	辻本康		
応用的な統計手法 コース（7 コマ）	因果推論の基礎、傾向スコア	田栗正隆	お申し込み手続き完了から 4 カ月間	21,000 円
	傾向スコアを用いた交絡調整の方法	田栗正隆		
	操作変数法	田栗正隆		
	回帰不連続デザイン	田栗正隆		
	差の差分析	田栗正隆		
	混合モデルと一般化推定方程式（1）	田栗正隆		
	混合モデルと一般化推定方程式（2）	田栗正隆		
論文作成 コース（4コマ）	How to Write a Good Paper and Get Published	Feldman	お申し込み手続き完了から 3 カ月間	12,000 円
	Scientific Writing for Publication	Kravitz		
	論文執筆に活かす 研究デザイン	栗田宜明		
	査読での対応方法	山本洋介		

＊募集は随時受付ています。

＊各コースは動画視聴と講義ごとの小テストで構成されています。

＊テキストは PDF 配布のみです。

＊認定証の発行はありません。

▸ eMAP next お申し込み